令和3年旭市議会第2回定例会会議録

議事日程（第5号）

令和3年6月28日（月曜日）午前10時開議

- 第 1 常任委員長報告
 - 第 2 質疑、討論、採決
 - 第 3 常任委員長請願報告
 - 第 4 質疑、討論、採決
 - 第 5 事務報告
 - 第 6 閉 会
-

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 常任委員長報告
 - 日程第 2 質疑、討論、採決
 - 日程第 3 常任委員長請願報告
 - 日程第 4 質疑、討論、採決
 - 追加日程第1 発議案上程
 - 追加日程第2 提案理由の説明
 - 追加日程第3 質疑、討論、採決
 - 追加日程 旭市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙
 - 日程第 5 事務報告
 - 日程第 6 閉 会
-

出席議員（15名）

1 番	片 桐 文 夫	2 番	平 山 清 海
3 番	遠 藤 保 明	4 番	林 晴 道
8 番	宮 内 保	9 番	高 木 寛
10 番	飯 嶋 正 利	11 番	宮 澤 芳 雄
12 番	伊 藤 保	13 番	島 田 和 雄

15番 伊藤房代
17番 景山岩三郎
20番 高橋利彦

16番 向後悦世
19番 佐久間茂樹

欠席議員（1名）

18番 木内欽市

説明のため出席した者

市長	明智忠直	副市長	飯島茂
教育長	諸持耕太郎	秘書広報課長	椎名実
総務課長	宮内敏之	企画政策課長	小倉直志
財政課長	山崎剛成	税務課長	伊藤義一
環境課長	高根浩司	社会福祉課長	椎名隆
高齢者福祉課長	赤谷浩巳	消防長	伊東秀貴
教育総務課長	杉本芳正	体育振興課長	柴栄男

事務局職員出席者

事務局長	花澤義広	事務局次長	向後哲浩
------	------	-------	------

開議 午前10時 0分

○副議長（宮内 保） おはようございます。

本日、議長に代わって私のほうで議事進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。

ただいまの出席議員は15名、議会は成立いたしました。

これより本日の会議を開きます。

○副議長（宮内 保） これより議案第1号から議案第17号までの17議案及び請願第1号、請願第2号の請願2件を一括議題といたします。

各常任委員会に付託いたしました議案等の審査結果は、お手元に配付のとおりでありますので、配付漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

○副議長（宮内 保） 配付漏れないものと認めます。

◎日程第1 常任委員長報告

○副議長（宮内 保） 日程第1、常任委員長報告。

これより各常任委員会に付託いたしました議案審査の経過と結果について、各委員長の報告を求めます。

初めに、文教福祉常任委員会委員長、林晴道議員のご登壇を願います。

（文教福祉常任委員長 林 晴道 登壇）

○文教福祉常任委員長（林 晴道） こんにちは。

傍聴の方々には、コロナ禍で何かとお忙しい中ご足労いただきまして、誠にありがとうございます。

初めに、明智忠直市長におかれては、平成22年7月から新旭市の2代目市長として、3期

12年の長きにわたり旭市政を担当され、数々の事業を成し遂げ、その任期を全うし、勇退されることになりました。このたびご勇退されるに当たり、数え切れない思い出があり、感無量のものであろうかとお察ししますが、改めて長年の功績をたたえ、深く敬意と感謝の意を示す次第であります。

任期まであと1か月余りでございますが、退任後は激務であった12年間の疲れを癒やされ、いつまでもご健康であられることをご祈念し、報告をいたします。

それでは、文教福祉常任委員会委員長、林晴道より報告を申し上げます。

去る6月14日の本会議において本委員会に付託された議案第1号、令和3年度旭市一般会計補正予算の議決について、議案第5号、旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第6号、海上ふれあいサポートセンターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について、議案第7号、財産の取得について、議案第9号、専決処分の承認について、議案第10号、専決処分の承認について、議案第13号、専決処分の承認について、議案第14号、専決処分の承認について、議案第15号、専決処分の承認について、議案第16号、専決処分の承認について、以上の10議案について審査の経過並びに結果を申し上げます。

先日の6月22日午前10時より、議会委員会室において、片桐副委員長、景山委員、伊藤房代委員、宮内委員とともに、議案説明のため執行部より教育長ほか関係課長等の出席を求め、本委員会を開催いたしました。

それでは、審査内容について、質疑とその答弁の内容を申し上げます。

初めに、議案第1号の主な質疑について申し上げます。

625万1,000円で市が買い戻す旧ごみ袋21万7,000枚の使い道は、それから、それをごみゼロや海岸清掃をする市民にも使えるようにできないかとの質疑では、まず庁舎内のほか小・中学校や保育園で使用する予定で、量的にかなり余るようであれば、市民の方の使用も一つの方法として考えていきたいとの答弁でありました。

次に、議案第5号の主な質疑について申し上げます。

旭市卓球場について、老朽化した施設を解体することのだが、現在、施設を活用している第二中学校の卓球部員68名の練習場所は考えているのかとの質疑では、新庁舎が完成し、使用しなくなった市の施設を利用してもらうことを考えているとの答弁でありました。

以上、主な質疑及び答弁の内容について申し上げますが、審査の結果、別紙報告書のとおり、10議案とも全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決、承認すべきものと決しました。

以上のとおり報告をいたします。

令和3年6月28日、文教福祉常任委員長、林晴道。

○副議長（宮内 保） 文教福祉常任委員長の報告は終わりました。

続いて、総務常任委員会委員長、宮澤芳雄議員、ご登壇願います。

（総務常任委員長 宮澤芳雄 登壇）

○総務常任委員長（宮澤芳雄） 皆さん、おはようございます。総務常任委員会委員長の報告を申し上げます。

6月14日の本会議において本委員会に付託されました議案第2号、旭市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第3号、旭市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について、議案第4号、東日本大震災による被災住宅の建替住宅等に係る固定資産税等の減免の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第8号、指定管理者の指定について、議案第11号、専決処分の承認について、議案第12号、専決処分の承認について、議案第17号、財産の取得についての7議案について、審査経過並びに結果を申し上げます。

去る6月23日午前10時より、議会委員会室において、議案説明のため執行部より副市長ほか関係課長等の出席を求め、本委員会を開催いたしました。

それでは、審査内容について、質疑とその答弁の内容を申し上げます。

初めに、議案第4号の主な質疑について申し上げます。

固定資産税の減免について、震災が終わってどこまで延ばす予定があるのかとの質疑では、当初、震災から10年ということで国から指定があったが、さらに5年延長する旨の法改正がなされたため延長したものであるとの答弁がありました。

次に、議案第8号の主な質疑について申し上げます。

この施設は多世代交流施設というようなことであるが、実際にどのような事業を指定管理者が考えているのかとの質疑では、具体的な事業の一つ一つのプログラムについては、これから来年4月のオープンにかけて煮詰めていく。イオンタウンが指定管理者になるが、様々なパートナーと協力しながら、細かいプログラムを来年に向けて練り上げていくことになっているとの答弁がありました。

以上、主な質疑及び答弁内容について申し上げましたが、審査の結果、別紙報告書のとおり、7議案とも全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決、承認すべきものと決しました。

以上のとおり報告いたします。

令和3年6月28日、総務常任委員長、宮澤芳雄。

終わりに当たり、総務委員会を代表して一言感謝の気持ちをお伝えさせていただきます。

明智市長には、3期12年間、旭市発展のために大変なご尽力をいただきました。委員会として心より感謝いたしますとともに、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

○副議長（宮内 保） 総務常任委員長の報告は終わりました。

以上で付託議案に対する各委員長の報告は終わりました。

◎日程第2 質疑、討論、採決

○副議長（宮内 保） 日程第2、質疑、討論、採決。

これより質疑、討論、採決を行います。

ただいまの各委員長の報告に対し、一括して質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

○副議長（宮内 保） 質疑なしと認めます。

これより一括して討論に入ります。

討論の通告はありません。

討論なしと認めます。

これより議案第1号から議案第17号までの17議案について採決をいたします。

採決は電子採決により行います。

議案第1号、令和3年度旭市一般会計補正予算の議決について、原案のとおり決することに賛成または反対のボタンを押してください。

（表決ボタンにより表決）

○副議長（宮内 保） 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

議案第2号、旭市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について、原案のとおり決することに賛成または反対のボタンを押してください。

（表決ボタンにより表決）

○副議長（宮内 保） 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

議案第3号、旭市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について、原案のとおり決することに賛成または反対のボタンを押してください。

(表決ボタンにより表決)

○副議長(宮内 保) 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

議案第4号、東日本大震災による被災住宅の建替住宅等に係る固定資産税等の減免の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について、原案のとおり決することに賛成または反対のボタンを押してください。

(表決ボタンにより表決)

○副議長(宮内 保) 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、議案第4号は原案のとおり可決されました。

議案第5号、旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、原案のとおり決することに賛成または反対のボタンを押してください。

(表決ボタンにより表決)

○副議長(宮内 保) 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、議案第5号は原案のとおり可決されました。

議案第6号、海上ふれあいサポートセンターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について、原案のとおり決することに賛成または反対のボタンを押してください。

(表決ボタンにより表決)

○副議長(宮内 保) 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、議案第6号は原案のとおり可決されました。

議案第7号、財産の取得について、原案のとおり決することに賛成または反対のボタンを押してください。

(表決ボタンにより表決)

○副議長（宮内 保） 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、議案第7号は原案のとおり可決されました。

議案第8号、指定管理者の指定について、原案のとおり決することに賛成または反対のボタンを押してください。

（表決ボタンにより表決）

○副議長（宮内 保） 押し忘れなしと認め、確定します。

賛成多数。

よって、議案第8号は原案のとおり可決されました。

議案第9号、専決処分の承認について、原案のとおり承認することに賛成または反対のボタンを押してください。

（表決ボタンにより表決）

○副議長（宮内 保） 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、議案第9号は原案のとおり承認されました。

議案第10号、専決処分の承認について、原案のとおり承認することに賛成または反対のボタンを押してください。

（表決ボタンにより表決）

○副議長（宮内 保） 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、議案第10号は原案のとおり承認されました。

議案第11号、専決処分の承認について、原案のとおり承認することに賛成または反対のボタンを押してください。

（表決ボタンにより表決）

○副議長（宮内 保） 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、議案第11号は原案のとおり承認されました。

議案第12号、専決処分の承認について、原案のとおり承認することに賛成または反対のボタンを押してください。

（表決ボタンにより表決）

○副議長（宮内 保） 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、議案第12号は原案のとおり承認されました。

議案第13号、専決処分の承認について、原案のとおり承認することに賛成または反対のボタンを押してください。

（表決ボタンにより表決）

○副議長（宮内 保） 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、議案第13号は原案のとおり承認されました。

議案第14号、専決処分の承認について、原案のとおり承認することに賛成または反対のボタンを押してください。

（表決ボタンにより表決）

○副議長（宮内 保） 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、議案第14号は原案のとおり承認されました。

議案第15号、専決処分の承認について、原案のとおり承認することに賛成または反対のボタンを押してください。

（表決ボタンにより表決）

○副議長（宮内 保） 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、議案第15号は原案のとおり承認されました。

議案第16号、専決処分の承認について、原案のとおり承認することに賛成または反対のボタンを押してください。

（表決ボタンにより表決）

○副議長（宮内 保） 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、議案第16号は原案のとおり承認されました。

議案第17号、財産の取得について、原案のとおり決することに賛成または反対のボタンを押してください。

（表決ボタンにより表決）

○副議長（宮内 保） 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、議案第17号は原案のとおり可決されました。

◎日程第3 常任委員長請願報告

○副議長（宮内 保） 日程第3、常任委員長請願報告。

文教福祉常任委員会に付託いたしました請願審査の経過と結果について、委員長の報告を求めます。

文教福祉常任委員会委員長、林晴道議員、ご登壇願います。

（文教福祉常任委員長 林 晴道 登壇）

○文教福祉常任委員長（林 晴道） それでは、文教福祉常任委員会委員長、林晴道より請願の報告を申し上げます。

去る6月14日の本会議において本委員会に付託されました請願第1号、「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願、請願第2号、「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願、この請願2件について、審査経過並びに結果を申し上げます。

請願の審査は、6月22日付託議案の審査終了後、本請願について紹介議員より詳しく説明を受け、担当課から参考意見を求めた後、直ちに審査を行いました。

審査では特に意見はなく、別紙報告書のとおり、請願2件とも全員賛成で、採択と決しました。

以上のとおり報告をいたします。

令和3年6月28日、文教福祉常任委員長、林晴道。

○副議長（宮内 保） 文教福祉常任委員長の報告は終わりました。

以上で付託請願に対する委員長の報告は終わりました。

◎日程第4 質疑、討論、採決

○副議長（宮内 保） 日程第4、質疑、討論、採決。

これより質疑、討論、採決を行います。

請願第1号、請願第2号の請願2件を一括議題といたします。

委員長の報告に対し、一括して質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○副議長（宮内 保） 質疑なしと認めます。

これより一括して討論に入ります。

討論の通告はありません。

討論なしと認めます。

これより請願第1号について採決いたします。

この請願に対する委員長の報告は採択です。

請願第1号、「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願について、採択と決するに賛成または反対のボタンを押してください。

（表決ボタンにより表決）

○副議長（宮内 保） 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、請願第1号は採択と決しました。

続いて、請願第2号について採決いたします。

この請願に対する委員長の報告は採択です。

請願第2号、「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願について、採択と決するに賛成または反対のボタンを押してください。

（表決ボタンにより表決）

○副議長（宮内 保） 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、請願第2号は採択と決しました。

ここで、しばらく休憩いたします。

休憩 午前10時25分

再開 午前10時40分

○副議長（宮内 保） 休憩前に引き続き会議を開きます。

本日、発議案が提出されました。

提出されました発議案は、発議第1号、義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について、発議第2号、国における2022年度教育予算拡充に関する意見書の提出についての2発議案であります。

配付漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

○副議長（宮内 保） 配付漏れないものと認めます。

ただいま発議案に伴う追加日程について、議会運営委員会を開催していただきました。

その結果につきまして、議会運営委員長の報告を求めます。

委員長、島田和雄議員、ご登壇願います。

（議会運営委員長 島田和雄 登壇）

○議会運営委員長（島田和雄） ただいま議会運営委員会を開きまして、発議案の提出に伴う追加日程について協議をいたしましたので、その内容についてご報告申し上げます。

本日提出されました発議案は、発議第1号、義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について、発議第2号、国における2022年度教育予算拡充に関する意見書の提出についての2発議案であります。

それでは、議事日程の協議結果について申し上げます。

お手元に配付してあります令和3年旭市議会第2回定例会議事日程その3、本日6月28日月曜日、この後、追加日程第1、発議案上程、追加日程第2、提案理由の説明、追加日程第3、質疑、討論、採決。

以上で追加日程の協議についての報告を終わります。よろしく願いいたします。

○副議長（宮内 保） 議会運営委員長の報告は終わりました。

おはかりいたします。発議第1号、発議第2号の2発議案を本日の日程に追加し、直ちに議題とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（宮内 保） ご異議なしと認めます。

よって、本議案を本日の日程に追加し、直ちに議題とすることに決しました。

◎追加日程第1 発議案上程

○副議長（宮内 保） 追加日程第1、発議案上程。

発議第1号、発議第2号の2発議案を上程いたします。

◎追加日程第2 提案理由の説明

○副議長（宮内 保） 追加日程第2、提案理由の説明。

提案理由の説明を求めます。

発議第1号、発議第2号について、文教福祉常任委員会委員長、林晴道議員、ご登壇願います。

（文教福祉常任委員長 林 晴道 登壇）

○文教福祉常任委員長（林 晴道） それでは、発議第1号、発議第2号について、提案理由を申し上げます。

初めに、発議第1号、義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について提案理由を申し上げます。

本発議案については、意見書を朗読して、提案理由の説明に代えさせていただきます。

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書。

義務教育費国庫負担制度は、憲法上の要請として、教育の機会均等とその水準の維持向上をめざして、子どもたちの経済的、地理的な条件や居住地のいかんにかかわらず無償で義務教育を受ける機会を保障し、かつ、一定水準の教育を確保するという国の責務を果たすものである。

政府の主導する三位一体の改革の中で、国家財政の悪化から同制度を見直し、その負担を地方に転嫁する意図のもとに、義務教育費国庫負担金の減額や制度そのものの廃止も検討された経緯がある。

地方財政においても厳しさが増している今、同制度の見直しは、義務教育の円滑な推進に大きな影響を及ぼすことが憂慮される。また、同制度が廃止された場合、義務教育の水準に格差が生まれることは必至である。

よって、国においては、21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準の維持向上と地方財政の安定をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

続いて、発議第2号、国における2022年度教育予算拡充に関する意見書の提出について提案理由を申し上げます。

本発議案についても、意見書を朗読して提案理由の説明に代えさせていただきます。

国における2022年度教育予算拡充に関する意見書。

教育は、憲法・子どもの権利条約の精神に則り、日本の未来を担う子どもたちを心豊かに教え、育てるという重要な使命を負っている。しかし現在、日本の教育は「いじめ」、「不登校」、少年による凶悪犯罪、さらには経済格差から生じる教育格差・子どもの貧困等、さまざまな深刻な問題を抱えている。また、東日本大震災、原子力発電所の事故、さらに各地で地震や豪雨、台風などの大規模災害が立て続けに発生した。災害からの復興は未だ厳しい状況の中にあるといわざるをえない。

一方、国際化・高度情報化などの社会変化に対応した学校教育の推進や教育環境の整備促進、さまざまな教育諸課題に対応する教職員定数の確保等が急務である。

千葉県及び県内各市町村においても、一人ひとりの個性を尊重しながら、生きる力と豊かな人間性の育成をめざしていく必要がある。そのためのさまざまな教育施策の展開には、財政状況の厳しい現状をみれば、国からの財政的な支援等の協力が不可欠である。充実した教育を実現させるためには、子どもたちの教育環境の整備を一層すすめる必要がある。

そこで、以下の項目を中心に、2022年度にむけての予算の充実をしていただきたい。

1. 災害からの教育復興にかかわる予算の拡充を十分にはかること
2. 少人数学級を実現するため、公立義務教育諸学校の教職員定数を改善する計画を早期に策定・実現すること
3. 保護者の教育費負担を軽減するために義務教育教科書無償制度を堅持すること
4. 現在の経済状況に鑑み、就学援助や奨学金事業に関わる予算をさらに拡充すること
5. 子どもたちが地域で活動できる総合型地域クラブの育成等、環境・条件を整備すること
6. 老朽化等による危険をとまなう校舎・ブロック塀の改築や、更衣室、洋式トイレ、空調設備設置等の公立学校施設整備費を充実すること
7. 子どもの安全と充実した学習環境を保障するために、財政措置を講じること

8. 感染症に伴う臨時休校等の様々な措置により、児童・生徒が健康面・学習面で不安やストレスを感じることがないように財政措置を講じること

国においては、教育が未来への先行投資であり、日本の未来を担う子どもたちに十分な教育を保障することが、国民の共通した使命であることを再認識され、国財政が非常に厳しい状況の中ではあるが、必要な教育予算を確保することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

意見書の提出先でございますが、発議第1号、第2号共に内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣宛てでございます。

皆様のご賛同をお願い申し上げまして、提案理由といたします。

令和3年6月28日、文教福祉常任委員会委員長、林晴道。

○副議長（宮内 保） 提案理由の説明は終わりました。

◎追加日程第3 質疑、討論、採決

○副議長（宮内 保） 追加日程第3、質疑、討論、採決。

これより質疑、討論、採決を行います。

発議第1号、発議第2号の2発議案を順次議題といたします。

発議第1号、発議第2号について、一括して質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

○副議長（宮内 保） 質疑なしと認めます。

これより一括して討論に入ります。

討論はありますか。

（「なし」の声あり）

○副議長（宮内 保） 討論なしと認めます。

これより発議第1号について採決いたします。

採決は電子採決により行います。

発議第1号、義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について、原案のとおり決することに賛成または反対のボタンを押してください。

（表決ボタンにより表決）

○副議長（宮内 保） 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、発議第1号は原案のとおり可決されました。

続いて、発議第2号について採決いたします。

発議第2号、国における2022年度教育予算拡充に関する意見書の提出について、原案のとおり決することに賛成または反対のボタンを押してください。

（表決ボタンにより表決）

○副議長（宮内 保） 押し忘れなしと認め、確定します。

全員賛成。

よって、発議第2号は原案のとおり可決されました。

◎追加日程 旭市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

○副議長（宮内 保） 続きまして、旭市選挙管理委員会委員及び補充員の任期が本年8月17日に満了になりますので、地方自治法第182条第1項及び第2項の規定により、これに伴う委員の選挙を行いたいと思います。

おはかりいたします。旭市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を本日の日程に追加し、直ちに議題とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（宮内 保） ご異議なしと認めます。

よって、旭市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を本日の日程に追加し、直ちに議題とすることに決しました。

おはかりいたします。選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（宮内 保） ご異議なしと認めます。

よって、選挙の方法は指名推選で行うことに決しました。

おはかりいたします。議長が指名することにしたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○副議長(宮内 保) ご異議なしと認めます。

よって、議長が指名することに決しました。

旭市選挙管理委員会委員に斉藤馨氏、昭和27年8月29生まれ、旭市ニの2085番地1。向後保夫氏、昭和20年10月1生まれ、旭市幾世570番地。石田宏氏、昭和30年1月4生まれ、旭市三川3877番地。宮負武芳氏、昭和19年6月24生まれ、旭市清和甲56番地2。以上の方を指名いたします。

おはかりいたします。ただいま指名した方を旭市選挙管理委員会委員の当選人と定めることにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○副議長(宮内 保) ご異議なしと認めます。

よって、ただいま指名しました斉藤馨氏、向後保夫氏、石田宏氏、宮負武芳氏、以上の方が旭市選挙管理委員会委員に当選されました。

続いて、旭市選挙管理委員会補充員に鈴木一男氏、昭和18年8月22生まれ、旭市東足洗674番地。千葉敏夫氏、昭和26年2月3生まれ、旭市倉橋1315番地。北村豪輔氏、昭和28年2月16生まれ、旭市飯岡2239番地1。堀江通洋氏、昭和29年8月8生まれ、旭市萬力1087番地。以上の方を指名いたします。

おはかりいたします。ただいま指名しました方を旭市選挙管理委員会補充員の当選人と定めることにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○副議長(宮内 保) ご異議なしと認めます。

よって、ただいま指名しました鈴木一男氏、千葉敏夫氏、北村豪輔氏、堀江通洋氏、以上の方が旭市選挙管理委員会補充員に当選されました。

次に、補充の順序についておはかりいたします。補充の順序は、議長が指名しました順序にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○副議長(宮内 保) ご異議なしと認めます。

よって、補充の順序は指名した順序により、第1順位、鈴木一男氏、第2順位、千葉敏夫氏、第3順位、北村豪輔氏、第4順位、堀江通洋氏に決定しました。

◎日程第5 事務報告

○副議長（宮内 保） 日程第5、事務報告。

事務報告を求めます。

総務課長、登壇してください。

（総務課長 宮内敏之 登壇）

○総務課長（宮内敏之） それでは、篤志寄附を受納しておりますので、ご報告いたします。

お手元の報告書をご覧ください。

一つ、金びょうぶ二曲一双を、伊藤和則様、椎名保様、奥村・阿部特定建設工事共同企業体、株式会社奥村組様、阿部建設株式会社様より、4月14日受納いたしました。

一つ、FM電波時計壁かけ型1台及び両面ポール型ソーラー式時計1台を、旭ライオンズクラブ様より、4月14日受納いたしました。

一つ、石造ベンチ3基を、旭ロータリークラブ様より、4月14日受納いたしました。

一つ、蓄電器4台を、特殊技研金属株式会社様より、5月14日受納いたしました。

一つ、豚肉288キログラムを、旭市養豚推進協議会様より、5月19日受納いたしました。

一つ、自動体温検温器20台を、公益社団法人銚子法人会様より、5月26日受納いたしました。

一つ、棒高跳び用具1式を、鈴木康生様より、6月21日受納いたしました。

一つ、医療用ガウン2,900着を、株式会社高野縫製様より、6月23日受納いたしました。

一つ、遊具2台を、くらしあ株式会社様より、6月24日受納いたしました。

以上で事務報告を終わります。

○副議長（宮内 保） 事務報告は終わりました。

◎日程第6 閉 会

○副議長（宮内 保） 以上をもちまして、本定例会に提出されました議案等の審議は終了いたしました。

これにて令和3年旭市議会第2回定例会を閉会いたします。

長期間にわたり大変ご苦労さまでした。

閉会 午前11時 4分